



入居者とスタッフとで  
つくりあげた

## 「ゆいま～る大曾根」 1周年記念祝賀会 が行われました！

2017年9月にオープンした

「ゆいま～る大曾根」は、このたび無事に1周年を迎えることができました。入居者同士が助け合い、

支え合い、多世代が暮らす地域社会とも

つながっていく―それが私たちが目指す

生き方・暮らし方です。この1年、入居者発案の

「園芸」「絵手紙」「健康麻雀」などのクラブができ、

自治会の催しにも積極的に参加してきました。

1階にはNPO法人わっぱの会が運営する

コミュニティスペース「ソーネおおぞね」が

できたことで、若いお母さんや子どもたちが

大勢集まるようになりました。

ここゆいま～る大曾根には、子どもの遊ぶ声が

聞こえ、色々な世代がごちゃまぜに住むふつうの

暮らしがあります。9月22日、ゆいま～る大曾根

1周年を記念して祝賀会がソーネホールにて

開かれました。各所で笑顔があふれ、入居者と

スタッフとでつくりあげたアットホームな

会の様子をご報告いたします。

まずは、主催者側として

弊社代表取締役社長の須藤

康夫から、「ゆいま～る大曾

根」の特徴やこれからの展

望についてあいさつがあり

ました。続いて、来賓とし

てNPO法人わっぱの会代

表の斎藤縣三さんより「ソ

ーネおおぞね」1年間の動

きやこれからの試みについ

て、自治会長の小川芳明さ

んより、地域が明るくなっ

たとのうれしいあいさつが

ありました。



大曾根住宅は、シャッター商店街や空き室が多かったが、ゆいま～る大曾根、ソーネおおぞねができて、全体に明るくなった。自治会のクラブ活動や、夏祭りなどの行事にも参加・お手伝いいただいた。これからも親睦を深めて、安心して暮らせる住宅としたい。

自治会長  
小川芳明さん



障がいのある人と共に生きる・働くということで事業展開してきた。「ソーネおおぞね」で販売しているパンや野菜も各事業所で作っている。子ども食堂「ソーネ みんなでごはん」やソーネホールを使った大衆演劇が好評。今後もゆいま～るの方々と一緒にやっていきたい。

NPO法人わっぱの会  
代表 斎藤縣三さん



既存の団地をリノベーションした分散型サ高住だから、約50㎡という広さとお手ごろ家賃を実現できた。わっぱの会さんの「ソーネおおぞね」ができたことで、多世代がつどい助け合い支え合う交流の場になった。全国820万戸の空き家にこのしくみが広がってほしい。

弊社代表取締役社長  
須藤康夫

